



情報提供日	平成 30 年 4 月 27 日 (金)	
担当課	担当者	電話番号・問合せ先
総務課企画係	係長 安江由次 主事 佐々木若菜	内線 245 TEL 0574 (78) 3111 FAX 0574 (78) 3099
白川町 企画課企画係	係長 鈴木 幸祐	内線 231 TEL 0574(72)1311 FAX 0574(72)1317

<東白川村・白川町・名古屋大学大学院環境学研究科連携協定調印式>

東白川村と白川町、国立大学法人名古屋大学大学院環境学研究科は、持続可能な地域づくり等に関する行政施策の立案、推進に関して互いに発展するための連携・協定を締結します。

この調印式を下記のとおり執り行います。

記

1. 日 時 平成 30 年 5 月 22 日 (火) 11 : 00 ~
2. 場 所 東白川村役場 本館 3 階会議室 (住所 : 加茂郡東白川村神土 548)
3. 出席者 ※人数は前後する場合があります。

○東白川村 / 今井俊郎村長 安江良浩参事 安江誠総務課長

○白川町 / 横家敏昭町長 佐藤滋副町長 安江章企画課長

○名古屋大学大学院環境学研究科 / 岡本耕平環境学研究科長

／山口靖環境学研究科附属持続的発展教育センター長

／高野雅夫教授 杉山範子特任教授

5. 次 第

- ①開会
- ②出席者紹介
- ③村長・町長挨拶
- ④研究科長挨拶
- ⑤協定書説明
- ⑥協定書調印
- ⑦写真撮影
- ⑧懇談
- ⑨閉会

【参 考】

1. 目的

名古屋大学と東白川村が共同研究・受託研究を推進するとともに、教育面において連携し、村政への助言を行うこと等により、密接な連携・協力を図り、相互の発展に資することを目的とする。

2. 概要

村が目指す「持続可能な地域づくり」「人が輝く地域力のある村ひがししらかわ」のために同大学付属の「臨床環境学コンサルティングファーム」が受託研究を実施し、行政や地域住民の抱える問題解決に取り組んでいきます。

また昨年度に引き続き、同大学の学生や教員などが村を訪れ、歴史や文化、自然などに対して白川町・東白川村をフィールドにした研究活動を行います。さらにどう大学院の院生を対象とした「持続可能な地域づくりに関する臨床環境学」の研修や教育活動を地域と行政が協力しながら行います。

3. 期待される効果

名古屋大学から訪れる学生や院生には海外からの留学生も含まれており、研究を進めていく中で「若者からの視点」と「海外からの視点」の両方を得ることができます。また、学生と地域住民とが関わることで、今まで気づけなかったことに気づく機会ともなり、今後の地域づくりに大きく役立つと期待できます。

4. 昨年度の成果

別紙参照（広報ひがししらかわ H30.1月号_No.82より）

5. 名古屋大学大学院環境学研究科附属持続的共発展教育研究センター

「臨床環境学コンサルティングファーム」

大学教員をリーダーとする専門家チームが現場と一緒に悩みながら解決策を探していくという取り組み。

- ① 地域で抱えている問題について、センター教員（コーディネータ）が相談に乗ります。
- ② 問題に対応するに当たり、適切な分野・教員を探します。
→当センター専任・兼任・協力員からさがし、見当たらない場合は学内の教員を広く当たります。場合によっては学外を紹介する可能性もあります。
- ③ 具体的な実施方法を互いの役割分担を含め、協議しながら検討します。
- ④ 連携方法は、「研究契約」「連携協定」等があります。